



文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
「環境応答を司る細胞ネットワークの機能発現の分子細胞メカニズムの解明」

甲南大学統合ニューロバイオロジー研究所

第2回公開シンポジウム

生命現象への統合的アプローチ ～若手研究者の挑戦～

遺伝子・タンパク質から環境・生態まで

【日時】 2014年12月18日 (木)
13:00～16:00

【会場】 甲友会館
神戸市東灘区岡本8-9-1
甲南大学岡本キャンパス

講演 1

LC-MSによる
植物スフィンゴ脂質の網羅的解析

柳川 大樹

生命・機能科学専攻 博士後期課程

講演 2

線虫 *C. elegans* の
低温適応を制御する
精子-神経系を介したネットワーク

園田 悟

生命・機能科学専攻 博士後期課程

田中 沙季

理工学部生物学科4回生

講演 3

自己組織化する
両親媒性高分子の設計

新田 恭平

生命・機能科学専攻 博士後期課程
日本学術振興会特別研究員 (DC1)

講演 4

ヤブレッツボカビ類の分類学的研究
～過去に記載された種の再発見～

土井 耕作

生命・機能科学専攻 博士後期課程

講演 5

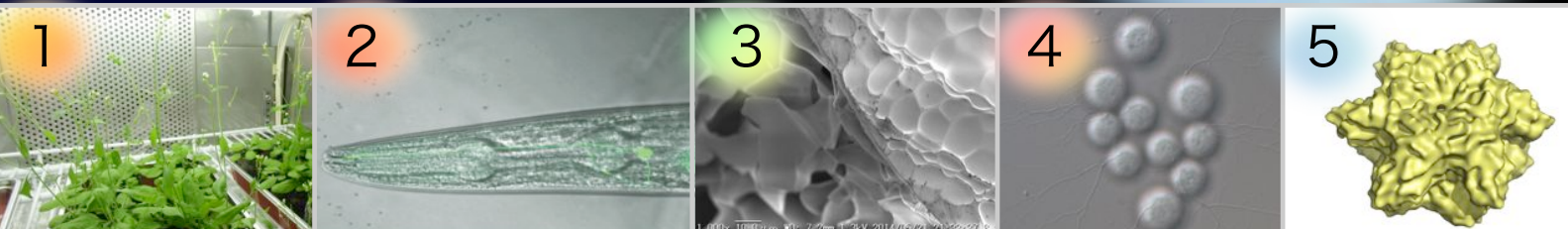
凝集したタンパク質をほぐす
タンパク質ClpBのはたらくしくみ

山崎 孝史

生命・機能科学専攻 博士後期課程

＊事前申込不要・入場無料

(学生・院生・一般の方の来聴を歓迎いたします)



【主催】 甲南大学統合ニューロバイオロジー研究所 研究所HP: <http://www.konan-u.ac.jp/~neurobio>

【共催】 甲南大学理工学部・大学院自然科学研究科

【問合せ先】 甲南大学フロンティア研究推進機構 Tel: 078-435-2754 / e-mail: officefront@center.konan-u.ac.jp